

## 2回のNIEの授業を終えて

『私はエミールこども園に行き、保育士の大変さや楽しさを学びました。』

2回のNIEの授業を通して私は、最初は新聞に興味がありませんでしたが、1回目の授業を受けた際、私は帰って新聞を拝見しました。すると、文字の大きさにびっくりしました。その時に目に入ったのが見出しでした。大きな見出しを見るだけでこれを書いた人が一番何を伝えたいのかがすぐ分かることができました。そして6/10に2回目の授業を受け、新聞の内容は5W1Hからなっていて、トライやるウィーで学んだ一番伝えたいことをびっくり見出しにすると、相手が読みたいと思えるような新聞が読めるのではないかと考えています。今、学校では少しでも新聞に興味をもてるような取り組みを行っています。興味のある新聞を読んでも、その新聞にどんな工夫が入れられているのか、作った人はどんな苦労があったのかなので読み取れると、その新聞に対する気持ちは変わると思っています。私が新聞を作るときには、まず1日間の内容を思い出して子どもたちとどんなことを楽しんだのか、その場所は自分でとって、どんな音、雰囲気だったのかということを表現にして作ってあげたいなと思います。私の作る新聞が少しでも、みんなに見てもらえるように頑張ります。これを2回の授業ほんっとにありがとうございました。

## 2回のNIEの授業を終えて

～ふりがえり～

新聞をつくるにあたってさまざまな工夫(小さなこと)が"かくされて  
いて、読み手が理解しやすくなりなっくりになっていました。

また文章の構成や見た"しのワードにちょっとした表現をいれること

で、発行者の思いや考えが"伝わりやすくなることをしてとても

おもしろかった。講習のはじめ、30字でとくに伝えたいこと

(学んだことや楽しかったこと)をまとめるとき、文字の省略や言いか

えることが、自分にとっては"難しく思ったのに、記者はそれ

が毎日"からさすのがたなあ!と感じました。

私も新聞にのせたい色々な話をたくさんおぼえて、その中

で一番伝えたいことを上手に表現したいです。

また文章だけでなく、見出しや色使い、文字の大きさやフォント

なども上手にバランスよく活用して、読み手の目をひきつけられ

るようにつくりたいです。

かえり～♪



## 2回のNIEの授業を終えて

インタビュー、新聞の取り方、書き方について知ることができました。普段はしないことを、分かりやすく教えていただき、少し挑戦してみようという気持ちが生じた気がします。私は、家で新聞を読むことがありますが、あまり文章の構成を意識したことがありません。新聞の文章と作文の文章は似ているなと思いました。だらだらと同じことをかくよりも、一つの節が通った文章を書いたほうが良いことを学びました。文の配置にも見る人(読む人)が分かりやすいように工夫されているのだなと思いました。新聞は主に朝刊と夕刊の2つしか1日に発行されないのだから、分かりやすく、そして丁寧に伝えることが大切だと思います。途中で新しいニュースが入ったとしても、初めに結論を伝えることで、後ろの方を省いても伝わるし、明確に、多くの量を伝えられるので新聞記者の人は、多くの時間を使って文章を考えていることが分かりました。新聞記事には、配置場所や見出しも大切なものだと思いました。色や大きさによって、その記事の印象や状態も決まるので、重要だし、一目で文章の内容がすぐに分かる記事を目出たすために必要なものなのでこだわりをもつことが大切だと思います。新聞をかくときは、2回の授業で学んだことを活かして、分かりやすく、正確に作っていかれたらいいなと思います。

## 2回のNIEの授業を終えて

私が新聞を作る時に、言葉が「マニネリ化」しないように気をつけようと思いました。他の人と同じような表現ばかりだと、読む人があきるということを知れたので、自分だけの言葉で新聞が書けたらいいなと思いました。

「結論を先に持ってくると分かりやすい」というのは初めて知りました。聞いた時は「うそやん」と思ったんですが、例文を見てたら本当なことに気づいて、すごいなと思いました。この方法は新聞以外にも色々使えそうなので使ってみたいと思います。

新聞は、文の構成だけでなく、写真やイラストの場所も大それたことが分かりました。写真の位置が違っただけで、人によって新聞の読み方が変わってきたり、見せやすさが変わってくるということが分かりました。

私は普段あまり新聞を読まないんですが、新聞にはたくさんの工夫がされてることを知って驚きました。いつもは写真をパッと見るくらいなんですが、文にもたくさんの読みやすい工夫がされていることを知ったので、少し新聞読んで見ようかなと思いました。